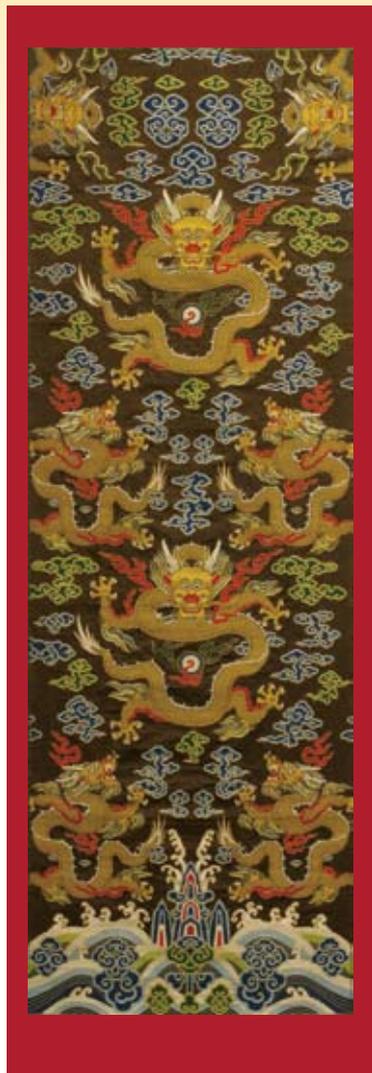


上野中町印見送幕復元新調

上野天神秋祭は菅原神社の秋祭で、民俗学的に見ると、御輿の渡御を中心とする祭りに、仮装の行列や作り物が加わり、現在のようないりや印、ダンジリで賑わうように形態を整えるようになったものです。印は依代と考えられるもので、それを囃すダンジリと、鬼行列と呼ばれる仮装行列が続く、類例の少ない貴重な行事です。国の重要無形民俗文化財に指定されています。

平成17年と18年の2カ年をかけて、国・県・市の補助と指導を受け上野中町の印に掛けられる見送幕を復元新調する事業が行なわれました。

原幕は著しく破損していて、中国の清の時代に作られた官服の前と後ろを繋ぎ合わせて作られ、龍の模様の断片があると分かる程度でした。そこで、染織や民俗の専門の先生にお願いして審議会を組織し、検討をしながら事業を進めました。



▲上野中町印見送幕

まず、原品を基本とすること、傷みのために不明な点は類似品を参考とすること、現代の素材と技術を駆使し原品に可能な限り近づけ、しかも長期の使用に耐える新調とすることを基本的な考え方と決めました。

次に、原品を調査して、現状を写し取り、龍の位置を決め、不明な部分は類似の官服を参考として、構図をつくりました。さらに全体のバランスを考え、修正しました。また、原品の配色を調べ、意匠図を作っていました。

技法は、原品のように衣装を制作してから縫い合わせるのではなく、原幕の現在の状態として一枚織りで、地組織は耐久性を考えて原品の8枚縺子を4枚縺子に変更することを決め、紋織物を製作しました。

この新しい印見送幕は今年の祭りを華やかに彩ってくれることでしょう。

なお、上野文化美術保存会は上野天神秋祭の幕についての講演会を次のとおり行います。

【とき】 9月1日(土) 午後1時30分

【ところ】 上野中央公民館2階ホール

【講師】 (財)西陣織物館顧問 藤井健三さん

教育委員会文化財室

☎ 22・9681



発行日 平成19年7月1日
 発行 伊賀市
 〒518-8501
 三重県伊賀市上野丸之内116番地
 編集 企画振興部広聴広報課
 ☎ 0595-22-9636
 FAX 0595-22-9617
 伊賀市ホームページ：
<http://www.city.iga.lg.jp/>

ひとが輝く 地域が輝く ~住み良さが実感できる自立と共生のまち~ 伊賀市 IGA CITY

白藤滝

名阪国道下柘植ICから車で、大山田方面に5分ほど走ると左に白藤滝への案内が見えてきます。

白藤滝は、滝山溪谷の一つ目の滝で、落差約15mの滝です。

夏の暑い時期には保養のため、また、紅葉の季節の11月には、滝山溪谷紅葉まつりが行われ、たくさんの方が集い賑わいます。

一度、訪ねてみてはいかがでしょうか。



(今月の表紙)